

弘前藩日記目録

(二十三)

弘前藩政史研究会

(延宝九辛酉年七月小)

十三甲子日 賜 未申刻雷教罷雨

1. 2. 今明日、御年の如く長勝寺に於て御施餼鬼、頭番等

3. 4. 名指願許可 5. 跡式許可 6. 袖苗願許可

7. 二、三両の郭の家小屋敷前にて小者に至るまで金中踊
る事無用を申付くる 8. 巡見使御送り役人、小島

に流れつくも無事松前へ着いた由、松前へ礼状

十四乙丑日 賜

1. 5. 久昌院、長勝寺、報恩寺へ参詣 6. 巡見使御

送り役人、無事松前へ到着の由、松前藩より飛脚あ

り、返事

十五丙寅日 賜

1. 御耳の如く御礼方し 2. 十三日より唐牛甚右江内

町氣にて登城せず

十六丁卯日 賜

1. 甚右江内、本復登城

十七戊辰日 賜

1. 式日寄合 2. 石川、河除け見分

十八己巳日 賜

1. 左官七兵衛を五両四人扶持にて召抱由、江戸より、

十九庚午日 賜 申刻雨

1. 巡見使本陣見分のため堀伝左江内、浅虫へ

廿辛未日 賜 丑刻風雨

1. 全用金七千兩江戸へ登ほせる道中奉行以下佐命

2. 内分金も石と一緒に差登す旨申渡す

廿一壬申日 曇 大風小雨

1. 石渡橋掛奉行仕命

廿二癸酉日 賜

1. 式日寄合 2. 伝左江内昨夜浅虫より帰る

3. 仙台者三人怪しい者の由、碓ヶ崎より追放

廿三甲戌日 賜

1. 町屋村百姓家出火の由

廿四乙亥日 賜

1. 堂野沢村三九郎の煮がまより出火、家一軒、馬三疋

諸道具焼失の由

廿五丙午日 賜

1. 2. 薄市の山火事注進あり、火消役を派遣

廿六丁丑日 曇 未刻小雨

1. 巡見使に藩主、その他よりの書状飛脚にて来る

2. 買米試奉行を仕命 3. 巡見使、松前巡見終了の火

合四、小泊にて見たる由

廿七戌寅日 晴 申刻小雨

1. 式日寄合
2. 江戸より御脚
3. 7. 宇象の山火

廿八己卯日 曇

1. 恒例の御礼消
2. 田村江左江門引越の島登城

廿九庚辰日 曇 寅刻雨

1. 千代松、竹千代の名、今後一切兼用、町迄申し触れる
2. 初畦一尺、穂里村より上納、褒美三十文目

近宝九辛酉年八月大

一辛巳日 昨寅刻雨及今午刻 晴

1. 例月の諸御礼、門飾、張番七夕の如し
2. 4. 江戸より下されたる御書付二通にのき各役職召寄せ、奉読させる

二壬午日 晴

1. 式日寄合

三癸未日 曇 風

1. 別条なし

四甲申日 晴 風

1. 別条なし

五乙酉日 晴

1. 2. 台所より江戸へ諸荷物差登す、用狀共に

六丙戌日 晴 申刻雨及終夜

1. 若殿御歩行江戸へ、用狀持参

2. 御納戸直具の整備を申付ける

七丁亥日 昨夜風雨及今巳刻

1. 式日寄合

八戊子日 晴 風

1. 別条なし

九己丑日 晴

1. 別条なし

十庚寅日 晴

1. 3. 巡見使、二日出帆の所、風悪しく戻り、昨九日出船、本日青森着岸の由申来る、その由江戸へ御脚等(三)

十一辛卯日 晴

1. 5. 巡見使南條(五) 6. 藩士江戸より用狀持参

十二壬辰日

1. 式日寄合 2. 5. 巡見使青森より、浅虫一領外へ

十三癸巳日 晴

1. 4. 巡見使退園、祝儀登城等(四)

十四甲午日 自昨寅刻小雨

1. 巡見使の青森随人等帰る 2. 早飛脚江戸へ

十五乙未日 昨夜雨風

1. 例月の御礼 2. 深浦御役屋番人仰付ける

十六丙申日 晴 風

1. 別条なし

十七丁酉日 陽

1. 式日寄合
2. 細越村に五十戈余の乞食死に居り、兎合の延不審なし

十八戌戌日 陽

1. 十歩一本錦請取私を任命
2. 外決の検見役任命

十九己亥日 陽

1. 江戸詰馬廻役、番登の者江戸へ
2. 鰯ヶ沢前渡の橋奉行申付け委細は勘定奉行より承り相勤めるよう申渡す
3. 4. 松前より巡見使通過終了の書状(三)

5. 外々決検見役の者誓詞

廿庚子日 陰

1. 去年早瀬野よりの巢鷗、清水の鳥屋にて毛替のため

飼育中病死

廿一辛丑日 陽

1. 江戸へ飛脚

廿二壬寅日 陽

1. 式日寄合
2. 初種重鷹、江戸へ

廿三癸卯日 陽 風

1. 鰯ヶ沢蔵目付より、蔵仕舞の断りあり

廿四甲辰日 陰 夜雨

1. 明日善久院一回忌、香奠等、外記へ
2. 3. 二番黄鷹、下善津より、五郎沼よりも鷹一尾

廿五乙巳日 陰

1. 廿二日市にて火事、九軒類焼の由

2. 深浦番人交替を命ず
3. 下善津より若重鷹一尾

廿六丙午日 陽

1. 江戸よりの飛脚、出水のため二日おくれ到着
2. 袖苗願許可
3. 去年九月太沼給津よりの鷗、病死
4. 二番鷹を江戸へ
5. 藩士重公直慮申し付け、更に還鑓を申付ける
6. 当依の検見役申付ける者十四

名、警固番等

廿七丁未日 陽

1. 將軍より、若殿雖拜領、祝儀のため登城
2. 3. 式日寄合、伝左江戸病氣不参
4. 藩士病死、子幼
5. 少故御目見申さず故、跡式改取の旨
6. 江戸より

藩士到着

廿八戊申日 陽 酉刻細雨

1. 恒例御礼
2. 唐牛甚右江戸尾太山御用にて出発
3. 堀伝左江戸病氣故不参

廿九己酉日 小雨

1. 別条なし

廿庚戌日 昨夜雨及今巳刻 晴

1. 伝左江戸本渡登城
2. 江戸勤番、一年休息を命ず
3. 茂森の土取場、土取過ぎたので今後別なところより取るように
4. 5. 前髪取願許可
6. 名誓願許可

7. 縁組願許可
3. 隠居願、家督許可

9. 10. 検見役眼病にのきま替、誓詞

11. 在々の駒改の警固の者誓詞

天和二年戊午九月大

一乙巳日 晴

1. 恒例の御礼
2. 青森より申来る葉通五並返事を遣す
3. 渡辺跡五右衛門、池田助大夫屋敷道具の番人差置く
4. 大日堂村忠右衛門菟舎に煩い、毎度の通り養生をす

二丙午日 晴

1. 2. 青森より飛脚、藩主乗舟大細御付けての躰をとり、又昌院へ、また、飛脚、藤、真鯛を又昌院へ
3. 進藤庄兵衛に青森支配を下命、時服銀子、料理を遣す
4. 庄兵衛、十三、藤ヶ沢、上磯の支配御免
5. 西郭の堂形立の吉日を接んだところ最勝院より明後四日吉日と申来る

6. 山田清左衛門の釣座能、不入につき、延期願許可
了藩主青森より浅虫へ発賣、一廻入湯、重臣に上磯の見分に

8. 岩木川掘替出来、昨日通水の処、流能き由
9. 時計屋四郎兵衛を伴半右衛門領内相尋ね申すべき由申渡す
10. 栗原市右衛門、草履取八助と彦大夫ら引合せるも滞着せず、彦大夫を袴向筆に入、釣置くよう申渡す
- 今日評定所で各役列座で合議、対決させたるも相交らず、彦大夫を袴向筆に入れ、番人を付けおく
11. 板柳その他四ヶ村の立札の儀、申立の通り申渡す
12. 13. 青森へ返事、庄兵衛も
14. 藩主浅虫より左須へ廻られる由、本陣修

覆するよう申付けに由

三丁未日 曇

1. 青森より継飛脚、藩主舟にて浅虫着の由
2. 浅虫へ飛脚
3. 4. 鷹二、いすれも七十目もあるもの
5. 藤ヶ沢へ遣す材木、金木、十三よりの運賃は吟味方へ相談の事
6. 7. 御蔵材木、御役屋堀、柵の材木も右に全じ
8. 二の丸の馬屋の薪、定の外に例の如く増加を命ず
9. 奥坊主の嵩湯治願許可
10. 明四日吉日に付、堂形を北郭へ建ててを申渡す
11. 時計屋半左衛門、四郎兵衛を尋ねるに、家屋敷両所にて路銀なき故申すにつき、兩所銀の内路銀を相渡す
12. 13. 山田浅右衛門、福士藤内母の嵩湯治願許可
13. 16. 堀伝左衛門屋敷後の土手、その他藩士の屋敷前後の土手修理を申渡す

四戊申日 晴

1. 浅虫より継飛脚、藩主機嫌よく入湯の由
2. 火繩
3. 越後高田へ
4. 岡部源五左衛門中気治療に伊崎弄仙が有
5. 吉の仁が弄仙は古異故、町医藤井定俊に治療を申付ける
6. 江戸より藩士御用状持参、封のまま浅虫へ
7. 碓ヶ岡依十郎一巻返事、大総より飛脚にて町奉行場崎より返事
8. 勧進能日教七日、今日終る

五己酉日 晴

1. 浅虫より縫飛脚、藩主機嫌能し

所用の品々申まり、飛脚に持参す

治願一浅虫へ

7. 浅虫より一昨三日の互事、鷹笛と御書について

と御成儀事の吉日、最勝院より、七日、八日吉日の虫

と浅虫より飛脚、藩主機嫌よく、大相の機物の小調、

小港から、略を久昌院へ

六庚戌日 晴

1. 立合にのき評定所に各役人出席

3. 石渡御蔵新断源四郎初等喰上ぐ

と江渡前の歌三十差上ぐ、浅虫へ

6. 浅取別荘の廻り申渡す

七辛亥日 晴

1. 浅虫より飛脚、鯛は久昌院へ

御用の品も

八壬子日 曇 雨

1. 昨夜酉刻より寅中刻圍まで強風雨、浅虫へ機嫌伺い

2. 御本城北の内の内、地形六日完成

四拾日申請度由、渡江將監申立にのき、払い渡す

と、検見人に城中に於て書付を渡す

藩士到着、園宮求馬より御用状持参

縫飛脚、藩主機嫌能し

上祝儀の義、浅虫へ伺い候也、供物等の指示あり

九癸丑日 晴

1. 劍井の通祝儀登城

への使者仰付ける旨、御目見終了の由の飛脚参り候

はば、早飛脚にて浅虫へ、と申来る

仕着代金一面、左近殿、銀子二枚同母へと、浅虫より

申来る

5. 碓ヶ岡保十郎が太鐘に居ることについて

の扱い方

6. 御膳米、大白砂糖等、浅虫より申

来り、遣す

7. 湯治願許可

8. 浅虫へ飛脚

9. 江戸より飛脚

10. 右の御用状封印のまま早々浅虫

へ

11. 浅虫より富雄あり、宮市、浅香の二丁の

御馬差越すよう申来り、早速相立す

十甲寅日 晴

1. 面、決代官任命

2. 大手町奉行屋敷道掃隊の人数

等申立にのき申渡す

3. 4. 鶴、吉内山、町田より

各一居留む

5. 昨十一日勝手作事棟上の吉日の由、最勝院より申来

る

6. 江戸より飛脚

7. 浅虫より産牛甚右江内帰る

8. 江戸よりの飛脚、すぐ浅虫へ

9. 検見代日申付の者警詞

10. 越後より飛脚、御用状、青森へ